



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月13日

上場会社名 株式会社トレードワークス 上場取引所 東
 コード番号 3997 URL https://www.tworks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅見 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安藤 千年 TEL 03-5259-6611
 四半期報告書提出予定日 2020年8月21日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	861	32.5	△85	—	△84	—	△59	—
2019年12月期第2四半期	649	△44.2	△79	—	△78	—	△56	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△17.94	—
2019年12月期第2四半期	△17.54	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,595	1,390	87.2
2019年12月期	1,748	1,466	83.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,390百万円 2019年12月期 1,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	16.3	144	15.6	144	14.4	100	11.9	29.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2Q	3,309,600株	2019年12月期	3,305,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2Q	160株	2019年12月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2Q	3,308,698株	2019年12月期 2Q	3,241,480株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来開催しておりました会場での機関投資家・アナリスト向け決算説明会に代えて、決算説明動画を当社ウェブサイトに掲載いたします。四半期決算補足説明資料につきましてもT D n e tにて同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中国向けを中心とする輸出の減少や日本への海外旅行客の減少、さらに、感染拡大防止のための外出自粛により個人消費が大きく落ち込んだことから、厳しい状況となりました。また、緊急事態宣言解除後、各地で段階的な経済活動の再開がみられるものの、足元では新規感染者が再び増加傾向で推移しており、依然として予断を許さない状況であり、当面は感染防止の必要性から本格的な経済活動の再開は時間がかかるものと懸念されております。

当社の属する情報サービス産業界においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の急減速による収益の減少や企業マインドの悪化を背景に設備投資を見送る動きが広がっております。

このような経営環境の下、当社は持続的な成長を実現するため、成長領域における事業拡大、収益力強化に向けた投資、更なる新規事業追及等を継続して行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて、不要不急の支出削減、リモートワーク環境の整備等の推進を通じて、社員の安全と事業の継続の両立を図るべく対策を進めております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高861,126千円(前年同四半期比32.5%増)、営業損失85,696千円(前年同四半期は営業損失79,677千円)、経常損失84,468千円(前年同四半期は経常損失78,605千円)、四半期純損失59,347千円(前年同四半期は四半期純損失56,856千円)となりました。

なお、当社は証券システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、各事業区分別の状況は以下のとおりであります。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業におきましては、ストック収入(月額使用料・保守及びクラウドサービス)は予定どおり進捗しましたが、一方でフロー収入(開発案件)については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当四半期にリリース予定の案件が第3四半期への変更となった結果、売上高は766,578千円(前年同四半期比35.3%増)となりました。

損益面につきましては、事務所移転に伴う地代家賃増(2019年4月移転)及び新型コロナウイルス感染症の影響への当事業の対応としては引き続きテレワーク用設備及びオンライン会議設備の強化により、前期に比べ利益率が低下となりました。

(FXシステム事業)

FXシステム事業におきましては、既存顧客への「TRADING STUDIO」LIONチャートPlus + 機能強化版の新ソリューションのサービス提供により、売上高は84,200千円(前年同四半期比13.2%増)となりました。

(セキュリティ診断事業)

セキュリティ診断事業におきましては、新規顧客の開拓により、売上高は10,348千円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は985,815千円となり、前事業年度末に比べ176,964千円減少いたしました。これは主に現金及び預金及び仕掛品が増加した一方、売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は609,283千円となり、前事業年度末に比べ23,724千円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定及び繰延税金資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,595,099千円となり、前事業年度末に比べ153,239千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は137,040千円となり、前事業年度末に比べ81,615千円減少いたしました。これは主に買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は67,285千円となり、前事業年度末に比べ3,676千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、204,325千円となり、前事業年度末に比べ77,938千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,390,773千円となり、前事業年度末に比べ75,300千円減少いたしました。これは主に、配当金の支払や四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.2%（前事業年度末は83.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う業績への影響は、テレワークやオンライン会議等を活用し事業継続したため軽微となり、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の通期の業績予想に変更はありません。

なお、引き続き新型コロナウイルス感染症による業績への影響については注視を続け、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,266	678,237
売掛金	688,414	140,951
仕掛品	16,405	143,094
未収消費税等	21,094	—
その他	14,598	23,531
流動資産合計	1,162,779	985,815
固定資産		
有形固定資産	104,623	97,360
無形固定資産		
ソフトウェア	288,697	259,870
ソフトウェア仮勘定	—	35,000
その他	153	153
無形固定資産合計	288,850	295,024
投資その他の資産		
投資有価証券	49,440	49,440
繰延税金資産	25,180	50,754
敷金及び保証金	117,463	116,704
投資その他の資産合計	192,084	216,898
固定資産合計	585,558	609,283
資産合計	1,748,338	1,595,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,145	82,242
未払法人税等	38,517	4,685
未払消費税等	7,138	5,329
前受金	19,551	16,331
その他	54,303	28,452
流動負債合計	218,656	137,040
固定負債		
退職給付引当金	63,608	67,285
固定負債合計	63,608	67,285
負債合計	282,264	204,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,441	303,726
資本剰余金	293,441	293,726
利益剰余金	869,572	793,700
自己株式	△380	△380
株主資本合計	1,466,073	1,390,773
純資産合計	1,466,073	1,390,773
負債純資産合計	1,748,338	1,595,099

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	649,992	861,126
売上原価	529,063	730,613
売上総利益	120,929	130,513
販売費及び一般管理費	200,606	216,210
営業損失(△)	△79,677	△85,696
営業外収益		
受取利息	56	23
受取配当金	—	900
受取家賃	—	279
貸倒引当金戻入額	482	—
その他	533	85
営業外収益合計	1,071	1,287
営業外費用		
為替差損	—	29
その他	—	29
営業外費用合計	—	58
経常損失(△)	△78,605	△84,468
特別損失		
固定資産除却損	2,054	—
特別損失合計	2,054	—
税引前四半期純損失(△)	△80,660	△84,468
法人税、住民税及び事業税	273	452
法人税等調整額	△24,076	△25,573
法人税等合計	△23,803	△25,121
四半期純損失(△)	△56,856	△59,347

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。